

# 12/10 (火)

## 開かれています

ヨハネの黙示録第四章11節

その後、私が見ていると、開かれた扉が天にあった。そして、……あの最初の声があった。「ここへ上って来なさい。そうすれば、この後必ず起こることをあなたに示そう。」(一)

この4章から黙示録独特のヨハネが見た幻が記されます。その幻は、「この後必ず起こること」、すなわち終末の出来事を告げるものでした。その初め、「ここへ上って来なさい」という天からの声により、彼は開かれた天の門を通り、天の御座に招かれました。そこに見たものは、全ての被造物が神を礼拝している姿でした。当時の教会はローマ帝国の支配下にあつて、「皇帝こそ主」という告白を強要されました。迫害下にある教会を励ますために神が見せてくださったのは、イエス・キリストの父なる神こそ礼拝されるべきお方であり、今も世界を支配しておられるという現実でした。この真理に目が開かれるとき、教会は希望をもつてこの世を見ることが出来るのです。私たちはこの世界にあつて、「主こそ神」と力強く告白する礼拝をささげ続けたいと思います。